

発 言 通 告 書

令和5年11月28日

松山市議会議長 渡部克彦 殿

松山市議会議員 土井田 学

次のとおり通告します。

発言順位	6	受領日時	11月28日 午前 11時 55分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 40 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長	・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	拉致問題について	(1)教育現場での現在の啓発学習への具体的な取組状況、ドキュメンタリーアニメめぐみの小・中学校別の映像活用状況及び児童・生徒の感想について (2)ブルーリボンバッジの市長着用について (3)北朝鮮による拉致の可能性を排除できない事案に係る松山市出身の2名の方の消息や家族との面談について (4)北朝鮮人権侵害問題啓発週間の行事への市長の参加の有無と本市の取組について (5)各市長会での拉致問題解決に向けた市長の活動状況について
2	少子化対策について	(1)直近の合計特殊出生率と令和6年の合計特殊出生率1.58達成の見込み及び自信について (2)松山市が他市に誇れる少子化対策とは具体的に何か。
3	いじめ対策について	(1)愛媛県の専門家会議が発表した令和3年度中の県内1,718件のいじめのうち、本市の件数について また、令和4年度の件数について (2)いじめの状況確認のため、令和4年度と5年度を比べた増減の傾向、また令和4年度のいじめの内容で多いものを問う。 (3)いじめを受けた児童とその保護者、これから子育てを始めようとする市民の皆さんに対するいじめ撲滅に向けた市長の決意について
4	中島地域で勤務する職員の環境について	(1)公募制度の開始時期、これまでの配置人数及び今年の募集人数と中島地域が活性化した事例について (2)一番遠い通勤距離、一番長い通勤時間及び一番高額な通勤手当の年間支給額について (3)中島地域以外から通勤している職員数と今年度の通勤手当の見

